

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月30日

計画の名称	安芸高田市公共下水道		
計画の期間	平成22年度～平成26年度 (5年間)	交付対象	安芸高田市
計画の目標			

生活環境の向上と公共水域の水質向上を達成するため、公共下水道事業を実施する

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道処理人口普及率を、25%（H22末）から32%（H26末）に向上させる

定量的指標の定義及び算定式

①下水道処理人口普及率  
下水道を利用できる人口（人）／行政人口（人）

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
25%	28%	32%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,044百万円	A	849百万円	B	0	C	195百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	18.7%
-------	---------------	----------	---	--------	---	---	---	--------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
安芸高田市建設部上下水道課において実施	平成27年度(事業終了後)
	公表の方法
	市のHPにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名			事業実施期間(年度)				
											H22	H23	H24	H25	H26		
吉田処理区																	
A-1	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	新設	吉田処理区面整備(未普及)	管径φ150mm L= 8,126m	安芸高田市						717	
A-3	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	新設	吉田浄化センター	流量調整槽 機械・電気工事 1式	安芸高田市						30	
八千代処理区																	
A-2	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	汚水	新設	八千代処理区面整備(未普及)	管径φ150mm L= 1,694m	安芸高田市						102	
合計																	849

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
吉田処理区																
C-1	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	新設	吉田処理区面整備(未普及)	管径φ150mm L=2,315m	安芸高田市						130	
C-1-1	下水道	一般	安芸高田市	間接	-	水洗化促進支援	排水設備の接続推進補助	助成戸数 120戸	安芸高田市						6	
八千代処理区																
C-2	下水道	一般	安芸高田市	直接	-	新設	八千代処理区面整備(未普及)	管径φ150mm L=1,387m	安芸高田市						57	
C-2-1	下水道	一般	安芸高田市	間接	-	水洗化促進支援	排水設備の接続推進補助	助成戸数 40戸	安芸高田市						2	
合計													195			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C-1	吉田処理区における基幹事業(A-1)に接続する末端管渠を整備することで、早期の供用開始を図り、事業の促進に資する															
C-1-1	吉田処理区における公共下水道に接続する排水設備に対して費用の一部を補助することにより、水洗化の促進を図る。															
C-2	八千代処理区における基幹事業(A-2)に接続する末端管渠を整備することで、早期の供用開始を図り、事業の促進に資する															
C-2-1	八千代処理区における公共下水道に接続する排水設備に対して費用の一部を補助することにより、水洗化の促進を図る。															
その他関連する事業																
計画の名称			安芸高田市公共下水道(防災・安全)													
事業種別	交付対象		要素となる事業名		市町村名										全体事業費 (百万円)	備考
A'-4	下水道	安芸高田市			安芸高田市		向原浄化センター								20	
$\frac{A'}{A'+B'+C'} = \frac{20}{20+0+0} = 18.3\%$																

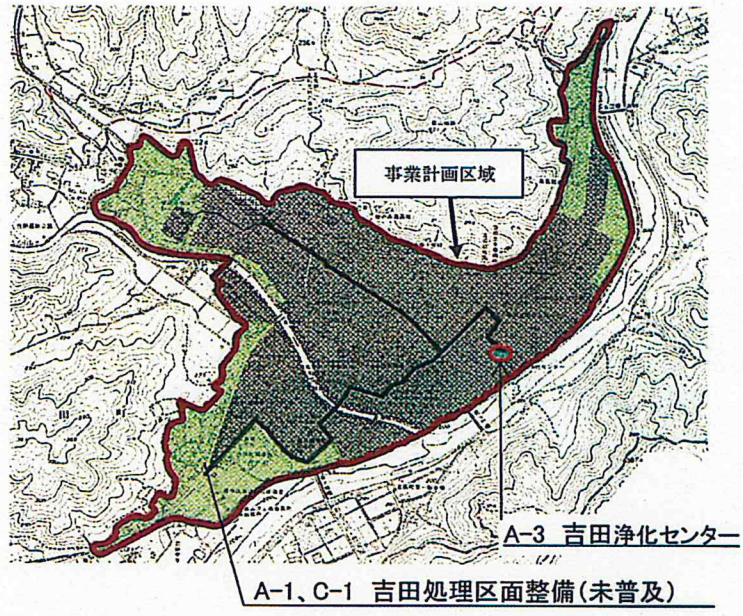
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>・下水道面整備を行ったことにより、下水道処理人口普及率（市内で下水道を利用できる人口）が8%向上した。 平成22年度当初の整備率25% → 平成26年度末の整備率33%（8%向上）</p>		
II 定量的指標の達成状況	(例)指標①（計画策定の進捗率）	最終目標値	32%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	32%	
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項（今後の方針等）				
<p>今後は、各施設の長寿命化に取り組み維持管理費の低減を図る。</p>				

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

計画の名称	安芸高田市公共下水道	交付対象	安芸高田市
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		

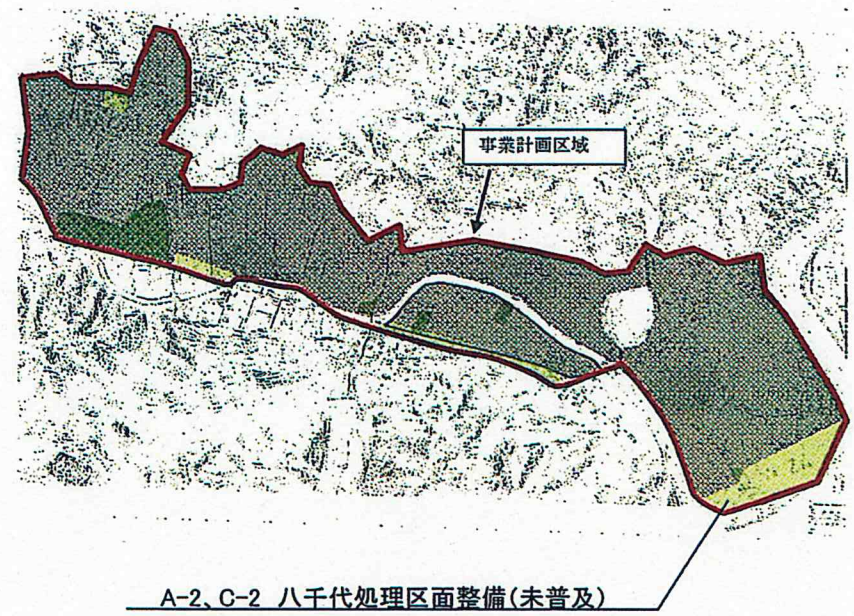
吉田処理区計画図

-  既整備
-  面整備工事(A-1、C-1)
-  吉田浄化センター(A-3)



八千代処理区計画図

-  既整備
-  面整備工事(A-2、C-2)



C-1-1排水設備の接続推進補助は、吉田処理区の事業計画区域内を対象とします。

C-2-1排水設備の接続推進補助は、八千代処理区の事業計画区域内を対象とします。

※本事業の実施は、下水道事業計画区域内で行う。

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月30日

計画の名称	安芸高田市公共下水道（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	安芸高田市
計画の目標			

生活環境の向上と公共水域の水質向上を達成するため、公共下水道事業を実施する。

計画の成果目標（定量的指標）

向原中央浄化センターにおいて、長寿命化計画を策定するにあたり耐震診断及び長寿命化診断の実施率を0%（H22）から100%に向上させる。

定量的指標の定義及び算定式

						定量的指標の現況値及び目標値			備考	
						当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)		
向原中央浄化センターにおける耐震診断及び長寿命化診断の実施率 耐震診断及び長寿命化診断済の施設（件）／耐震診断及び長寿命化診断の対象施設（件）						0%	0%	100%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	20百万円	A	20百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
安芸高田市建設部上下水道課において実施	平成27年度（事業終了後）
	公表の方法
	市のHPにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
向原処理区																	
A-4	下水道	一般	安芸高田市	直接	—	汚水	改築	向原浄化センター	耐震診断、長寿命化診断	安芸高田市						20	
合計											20						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
番号 一体的に実施することにより期待される効果													備考				

その他関連する事業								
計画の名称			安芸高田市公共下水道					
事業種別	交付対象		要素となる事業名			市町村名	全体事業費 (百万円)	備考
A'-1	下水道	安芸高田市	吉田処理区面整備 (未普及)			安芸高田市	717	
A'-2	下水道	安芸高田市	八千代処理区面整備 (未普及)			安芸高田市	102	
A'-3	下水道	安芸高田市	吉田浄化センター			安芸高田市	30	
C'-1	下水道	安芸高田市	吉田処理区面整備 (未普及)			安芸高田市	130	
C'-1-1	下水道	安芸高田市	排水設備の接続推進補助			安芸高田市	6	
C'-2	下水道	安芸高田市	八千代処理区面整備 (未普及)			安芸高田市	57	
C'-2-1	下水道	安芸高田市	排水設備の接続推進補助			安芸高田市	2	

A'	849	B'	0	C'	195	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	18.3%
----	-----	----	---	----	-----	---------------------------------------	-------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・施設の耐震診断、及び長寿命化診断を行ったことにより、計画策定のための具体的な箇所が明確となった。

II 定量的指標の達成状況	(例)指標① (計画策定の進捗率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

3. 特記事項 (今後の方針等)

- ・平成27年度 長寿命化計画を策定する。
- ・平成28年度 耐震・長寿命化対策工事実施設計
- ・平成29年度～ 耐震・長寿命化対策工事

# 社会資本総合整備計画（防災・安全）

計画の名称	安芸高田市公共下水道（防災・安全）	交付対象	安芸高田市
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		

